米山宗久（よねやま むねひさ）

職　名　教授

担当科目　地域福祉論、社会福祉概論、社会学、家族社会学、高齢者と社会政策、住環境福祉論1･2、ボランティア論、ボランティア体験、ゼミナールⅢ･Ⅳ

研究室　ダイヤルイン　0258(39)1917
内線　419

E-mail　m-yoneyama@nagaokauniv.ac.jp

研究テーマ　子育て支援、人と人のつながり、多世代交流

研究業績

著　書
- 平成27年４月　消滅してたまるか！―品格ある革新的持続へ―　（共著）地域ルネッサンス創造機構シンクタンク・ザ・リバーバンク
- 平成24年11月　社会福祉の新潮流①新・社会福祉論－基本と事例（共著）学文社

論　文
- 令和４年３月　アドボカシーの視点による里親制度の必要性と課題　長岡大学地域連携研究センター『長岡大学研究論叢』第20号
- 令和３年11月　「新型コロナウイルス感染」から見えてきた新たな地域福祉の視点と支援策―子育ての駅・地域子育て支援拠点施設における現状から―　長岡大学地域連携研究センター『地域連携研究』第８号
- 令和元年８月　玩具遊びを通じた親子関係の構築と多世代交流の必要性―プラレール遊びを通じた効果検証より―　長岡大学地域連携研究センター『長岡大学研究論叢』第17号
- 平成30年８月　家庭機能の低下による子育て意識の考察―鉄道玩具（プラレール）遊びの利用者アンケートより―　長岡大学地域連携研究センター『長岡大学研究論叢』第16号
- 平成27年11月　子育ての多様化と子育て支援　長岡大学地域連携研究センター年報「地域連携研究」第２号
- 平成27年３月　「買い物支援」を中心とした住民ネットワーク構築の必要性――人暮らし高齢者の実態調査より―長岡大学地域連携研究センター
- 平成26年11月　「一人暮らし高齢者の買い物支援の必要性」　長岡大学地域連携研究センター年報『地域連携研究』第１号
- 平成26年７月　「山梨における福祉コミュニティの再生　―人と人をつなぐ『無尽』からの考察―」　長岡大学地域連携研究センター『長岡大学研究論叢』第12号
- 平成25年11月　民生委員・児童委員に求められる視点と期待　長岡大学地域研究センター　年報2013第13号
- 平成24年３月　支援の必要な子どもと家族のニーズと地域ネットワークに関する研究　（共著）山梨県立大学地域研究交流センター

略　歴
- 平成31年４月　長岡崇徳福祉専門学校　非常勤講師（現在に至る）
- 平成29年４月　長岡技術科学大学・大学院　非常勤講師（現在に至る）
- 平成29年４月　長岡大学経済経営学部教授（現在に至る）
- 平成25年４月　長岡大学経済経営学部准教授
- 平成20年３月　東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻博士前期課程　修了(社会福祉学修士)
- 昭和60年４月　双葉町役場　入職（山梨県）
- 昭和60年３月　東洋大学社会学部応用社会学科社会福祉専攻　卒業（社会学士）

社会的活動
- 令和５年４月　長岡市障害者施策推進協議会会長（現在に至る）
- 平成29年４月　社会福祉法人長岡東山福祉会評議員（現在に至る）
- 平成29年４月　長岡市社会福祉協議会評議員（現在に至る）
- 平成29年４月　長岡市障害者施策推進協議会副会長（令和５年３月まで）
- 平成29年１月　長岡市情報公開・個人情報保護審議会委員（現在に至る）
- 平成28年５月　長岡市社会福祉センター運営協議会委員（現在に至る）
- 平成26年６月　おぢや男女共同参加プラン推進懇談会座長（現在に至る）
- 平成25年10月　長岡市男女共同参画審議会委員（現在に至る）
- 平成25年５月　長岡市指定管理者選定委員会委員（現在に至る）
- 平成25年５月　長岡市福祉有償運送運営協議会委員（現在に至る）
- 平成25年５月　長岡市高齢者保健福祉推進会議委員（現在に至る）

所属学会　日本社会福祉学会、東洋大学社会福祉学会、健康生きがい学会

担 当 講 座

テーマNo.1	ボランティアを始めてみない！
内　　容	ボランティア適性診断マップに基づいて、自分が４つ（アクティブ･コミュニケーション・スキル・マイペース）のタイプに向いているのかを判定しながら、ボランティア活動のきっかけづくりとする。 また、視聴覚教材を用いて実際に行われているボランティア活動を視聴して、「自分でもできる」という自覚や自信を養う。